

Title	【資料編 2】表紙ほか
Author(s)	京都大学百年史編集委員会
Citation	京都大学百年史：資料編；2 (2000)
Issue Date	2000-10-30
URL	http://hdl.handle.net/2433/152918
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

京都大学百年史

資料編
二

題字

井村
裕夫

凡 例

一 『京都大学百年史』は、京都大学百年史編集委員会が編集する京都大学百年の歴史であり、総説編一卷、部局史編三卷、資料編三卷よりなる。

二 資料編の構成は次のとおりである。

第一編 法令・規則 (第一卷)

第二編 百年の出来事

第三編 式典・式辞 (以上本卷)

第四編 一覧・統計

第五編 年表

総索引 (以上第三卷)

三 第二編「百年の出来事」には、明治二(一八六九)年の舎密局創立から、一八九七(明治三〇)年の京都帝国大学創立および一九四九(昭和二四)年の新制京都大学の発足を経て、一九九八(平成一〇)年四月までの、京都大学に関する主な出来事について、大学所蔵の行政史料、書翰・日記等の個人史料、新聞、広報等を中心に収録した。

四 第二編は年代および項目別に九章に分け、必要に応じて細目を立てた。史料は細目ごとに年代順に配列し、番号を付した。また、各章の冒頭に解題を置き、収録した史料について解説した。

五 第三編「式典・式辞」には、京都帝国大学創立から一九九八平成一〇）年四月までの入学式・卒業式の変遷の分かる主な史料を第一章に、初代木下廣次総長から第三代長尾真総長までの歴代総長の入学式・卒業式等における主な式辞を第二章に収録した。

六 第三編は各章ごとに必要に応じて細目を立て、史料は細目ごとに年代順に配列し、番号を付した。

七 本文の記述は以下の要領によった。

(一) 史料の表題は、原則として原史料のものを採用したが、学内規則については「京都帝国大学」「京都大学」を省略し、編者が内容に即して表題をつけたものには＊を付した。新聞記事については、見出しを表題としたが、長くなる場合は適宜省略した。編集の都合により史料の一部を省略した場合には、表題にその旨を〔抄〕と示し、本文中にも〔中略〕のように示した。また、編者の付した副題は〔一〕で示した。

(二) 典拠については、巻末の典拠目録に一括して示し、表題の下にその番号を「〔一〕」で付した。

(三) 学内規則、告示等については種類と番号を付した。

(四) 年月日は、原則として史料中に明記されているものを採用した。評議会の関係史料については評議会の開催日を、新聞等については紙面記載の発行日を採用した。編者が年月日を推定した場合は「〔一〕」で示した。明治五年以前は太陰暦に従って元号を中心に表記し、一八七三年以後は太陽暦に従って西暦を中心に表記した。

(五) 原史料が横書きのものは一部の記号等を除き縦書きに改め、その旨を〔注〕に示した。

(六) 史料本文は原則として原史料のとおりに表記したが、次の事項は例外とした。

- ① 漢字は常用漢字を使用した。ただし人名に関しては原史料に従った。
 - ② 変体仮名は平仮名に修正し、「𑖀」「𑖁」などの合わせ字は、「トモ」「コト」などに改めた。
 - ③ 欠損や判読不明の箇所は□・□ □ □で示した。
 - ④ 新聞等の振り仮名、写真および写真の説明文は省略した。
 - ⑤ 原史料中の欄外への書き込み等については、適宜〔注〕で示した。
 - ⑥ 史料本文中の削除箇所は〈 〉で、加筆箇所は……で示した。
 - ⑦ 疑義のある箇所には〔ママ〕あるいは〔カ〕を付したが、人名に関して正しい表記が明らかな場合は〔 〕で示した。
 - ⑧ 人名については、原史料中に姓名どちらかのみあるいは肩書のみが表記されている場合は、可能な限り姓・名を〔 〕で補足した。
- 八 史料本文中に、差別的表現および個人情報に関する記載が存在するが、歴史史料としての性格を考慮し、そのまま収録した。

目次

凡例
目次
細目次

第二編 百年の出来事

第一章 含密局から第三高等学校へ……………三

一 学校制度の変転……………七

二 第三高等学校・第三高等学校……………五一

(一) 第三高等学校……………五一

(二) 第三高等学校……………六七

第二章 創立と諸制度の整備……………八二

一 設置構想と創立……………八八

二 諸制度の整備……………一四三

第三章 大学自治の展開と動揺……………二〇七

- 一 戸水事件前後……………二二四
- 二 岡田総長退職事件……………二二一
- 三 岡村教授譴責事件……………二三三
- 四 澤柳事件と総長公選への動き……………二三六
- 五 河上事件……………二六五
- 六 瀧川事件(京大事件)……………二七一

第四章 一九三〇年代初頭までの大学生活・学生運動……………三〇六

- 一 運動会・以文会・学友会……………三一〇
- 二 大学生活……………三二九
- 三 学生運動……………三四九

第五章 戦時体制……………三七五

- 一 戦時下の制度・組織改革……………三八一
- 二 荒木文相改革問題……………四三二
- 三 戦時下の儀式・行事……………四四〇
- 四 学徒動員……………四五〇
- 五 学徒出陣……………四六一
- 六 戦時下の大学生活……………四七一

第六章	新制大学の発足と整備	四八九
一	敗戦直後の大学	四九三
二	新制大学の発足	五〇六
三	諸制度の整備	五二九
第七章	戦後の大学生活と学生運動	五七二
一	学生生活	五八一
二	敗戦から一九六〇年代中葉までの学生運動	六〇五
三	大学紛争とそれ以降の学生運動	六五〇
第八章	大学再編への道	七〇一
一	紛争を契機とする諸改革	七〇六
二	教養部・大学院改革	七五三
三	新キャンパス構想	七七四
四	国際交流と大学開放	七八〇
五	入学試験制度改革	七九六
六	諸問題への対応	八〇七
第九章	現在の京都大学	八三四

第三編 式典・式辞

第一章 式典

..... 九〇三

一 入学式

..... 九〇三

二 卒業式

..... 九一一

第二章 式辞

..... 九二八

一 木下廣次

..... 九二八

二 岡田良平

..... 九三四

三 菊池大麓

..... 九三六

四 久原躬弦

..... 九三九

五 澤柳政太郎

..... 九四一

六 山川健次郎

..... 九四四

七 荒木寅三郎

..... 九四六

八 新城新藏

..... 九五一

九 小西重直

..... 九五三

一〇 松井元興

..... 九五五

一一 濱田耕作

..... 九五六

一二 羽田亨

..... 九五八

典拠目録

一三	鳥養利三郎	九六一
一四	服部峻治郎	九六七
一五	瀧川幸辰	九六九
一六	平澤 興	九七一
一七	奥田 東	九七六
一八	前田敏男	九八〇
一九	岡本道雄	九八二
二〇	沢田敏男	九八八
二一	西島安則	九九四
二二	井村裕夫	九九八
二三	長尾 真	一〇〇三

一〇〇七

細目次

第二編 百年の出来事

第一章 含密局から第三高等学校へ

解題	三
一 学校制度の変転	七
一 含密局創立之起源	一
二 御布告案	二
三 大坂府布告案*	二
四 大阪洋学所を開成所に改称*	二
五 大阪理学所を開成所の分局とする*	二
六 開成所を第四大学区第一番中学に改称*	二
七 第三大学区第一番中学を開明学校に改称*	二
八 開明学校を大阪外国語学校に改称*	二

九	大阪外国語学校を大阪英語学校に改称*	(一八七四・一二・二七)	一三
一〇	学則〔抄〕〔大阪英語学校〕	(一八七六・一一・)	一四
一一	舎則〔大阪英語学校〕	(一八七七・一・一五)	一六
一二	英語専修科設立ニ付上申	(一八七八・一二・一四)	一八
一三	英語専修科実施承認の達*	(一八七九・一・二三)	一九
一四	大阪英語学校を大阪専門学校に改称*	(一八七九・四・四)	一九
一五	大阪専門学校職制及事務章程	(一八七九・五・一二)	一九
一六	大阪専門学校校則〔抄〕	(一八八〇・九・)	二一
一七	大阪専門学校を大阪中学校に改称*	(一八八〇・一二・一六)	二六
一八	将来ノ要務	(一八八一・一二・)	二六
一九	大阪中学校規則〔抄〕	(一八八二・七・)	二九
二〇	関西大学創立次第概見	(一八八五・)	四三
二一	大阪中学校を大学分校に改称*	(一八八五・七・一三)	四六
二二	規則〔抄〕〔大学分校〕	(一八八五・一二・)	四六
一一	第三高等学校・第三高等学校		
(一) 第三高等学校			
〔制度・組織〕			
一	学校名称並ニ所属変換〔抄〕	(一八八六・五・二)	五一
二	規則〔抄〕〔第三高等学校〕	(一八八七・四・二)	五一
三	法科分科創設之件上申	(一八八八・一二・二)	五五

四 兼学科附設之儀伺	(一八八九・一二・一七)	五六
〔京都への移転〕			
五 高等中学校ノ設置区域	(一八八六・一一・三〇)	五七
六 高等中学校敷地	(一八八七・一・四)	五八
七 移転御届	(一八八九・八・二)	五八
八 開校式並に卒業証書授与式	(一八八九・九・一三)	五九
九 文部大臣上奏文	(一八九〇・四・八)	六〇
〔学園生活〕			
一〇 第三高等中学校春季大運動会次第	(一八八九・四・二〇)	六一
一一 生徒取締上ノ件會議決	(一八八九・九・一四)	六二
一二 第三高等中学校壬辰会規則	(一八九二・三・一〇)	六四
一三 兵式修学旅行心得	(一八九三・三・二)	六五
一四 校内及教場内心得	(一八九三・九・九)	六六
(一) 第三高等学校			
〔制度・組織〕			
一 規則〔抄〕〔第三高等学校〕	(一八九四・八・二)	六七
〔学園生活〕			
二 寄宿生規約	(一八九四・一〇・一六)	七七
三 第三高等学校学生規約	(一八九五・一・一二)	七九
四 第三高等学校嶽水会規則		八〇

第二章 創立と諸制度の整備

解 題 八二

一 設置構想と創立

一 京都大学条例	(一八九一・八・)	八八
二 関西ニ帝国大学ヲ新設スル建議按	(一八九二・二・二四)	九一
三 建 議	(一八九四・四・八)	九四
四 清国賠償金ノ一部ヲ東京及京都ノ帝国大学基本金トシテ交 付セラレンコトヲ請フノ議	(一八九五・)	九四
五 京都帝国大学の設置について *	(一八九五・)	九六
六 京都帝国大学創立案 *		九七
七 京都帝国大学創立計画ニ関スル諸案		一〇五
八 内 申		一一八
九 京都大学創立ノ事情		一二一
一〇 岡松参太郎書翰(木下広次宛)	(一八九八・二・二四)	一三三
一一 岡松参太郎書翰(木下広次宛)	(一八九八・七・七)	一三四
一二 織田萬書翰(木下広次宛)	(一八九九・四・九)	一三八
一三 岡村司書翰(木下広次宛)	(一九〇一・五・一九)	一四〇
一四 谷本富書翰(木下広次宛)	(一九〇二・三・一〇)	一四〇
一五 末広重雄書翰(木下広次宛)	(一九〇二・五・二〇)	一四一

一六 荒木寅三郎書翰(木下広次宛)	(一九〇二・一一)	九	一四二
-------------------------	-----------	---	-----

二 諸制度の整備

〔法科大学規程改正〕

一 高根義人書翰(木下広次宛)	(一九〇二・五・六)	一四三
二 法科大学年限短縮に関する件*	(一九〇三・二・二三)	一四六
三 京都帝国大学法科大学規程改正ノ理由	(一九〇三・)	一四七
四 法科大学規程及同細則補則改正ノ件	(一九〇三・四・二九)	一四八
五 法科大学規程改正ノ件	(一九〇五・六・三〇)	一四九
六 法科大学規程改正につき上申*	(一九〇五・七・二三)	一四九
七 法科大学規程改正ノ件(抄)	(一九〇七・三・二〇)	一四九
八 澤柳政太郎書翰(木下広次宛)	(一九〇七・五・九)	一五三

〔文科大学關係〕

九 京都帝国大学文科大学の組織に関する卑見	(一九〇三・九・二二)	一五三
一〇 文科大学現況(抄)	(一九〇九・)	一六三

〔医科大学学生決議〕

一一 試験採点法変更、試験成績発表に反対する京都医科大学学生決議*	(一九〇八・五・二二)	一六五
---	-------------	-----

〔図書館評議会構想〕

一二 京都帝国大学図書館評議会草按理由		一六七
---------------------------	--	-----

〔入学者選抜〕

一三	各高等学校第三部卒業生医科大学へ分配法	一七三
一四	学生分配法ニ関スル意見書	一七四
一五	大森治豊書翰(木下広次宛)	一七六
一六	久原躬弦書翰(木下広次宛)	一七八
一七	久原躬弦書翰(木下広次宛)	一八〇
一八	京大最初の女学生 医学部選科生として入学 二人共に大阪の出身者	一八一
	〔講演会〕		
一九	特別講演〔抄〕	一八二
二〇	講演会会則	一八三
二一	京都大学講演会 専門智識普及の目的 八月八日より三週間〔抄〕	一八三
	〔評議会への諮詢〕		
二二	学位令改正に關し評議会に諮詢*	一八六
二三	学位令改正ニ関シ原按ヲ具シ文部大臣ヨリ本大学評議會ノ意見ヲ諮詢セラレタルノ件〔抄〕	一八八
二四	山川健次郎書翰(荒木寅三郎宛)	一八九
二五	坂口日記 一九一五年一〇月八日条〔抄〕	一九〇
二六	坂口日記 一九一五年一〇月一三日条	一九〇
二七	文部大臣ヨリ諮詢ノ大学令ニ関スル件	一九一
二八	大学学制ニツキ諮詢ニ関スル件	一九一

〔停 年 制〕

二九 千賀鶴太郎書翰(荒木寅三郎宛) (六・一) 一九四

〔軍事教練〕

三〇 教練ヲ希望スル学生ノ取扱ニ関スル件 (一九二五・七・九) 一九八

三一 希望者に限り軍事教練実施 本学では来る九月から (一九二五・八・五) 一九八

三二 国防研究会設立 二班に分けて第一班は既に教練開始 (一九二五・一一・一) 二〇〇

〔創立記念祝日〕

三三 創立記念祝日規程 (二八九八・六・一四) 二〇一

三四 第二回紀念式次第 (二八九九・六・一八) 二〇一

三五 創立紀念式典の日程變更に関する上申* (一九〇二・五・二三) 二〇二

三六 創立十周年紀念祝式式辞 (一九〇七・四・一) 二〇二

三七 京大記念式順序 久邇中将宮台臨 学内開放と大園遊会 (一九二三・六・一八) 二〇五

三八 本学教官職員先輩学生大懇親会 (一九二四・六・一三) 二〇六

三九 創立記念大懇親会* (一九二四・六・一四) 二〇六

第三章 大学自治の展開と動揺

解 題 二〇七

一 戸水事件前後

一 大学運営についての法科大学教官意見書* (一九〇二・七・一四) 二二四

二 京都帝国大学官制改正ノ義ニ付建議 (一九〇二・九・) 二二六

三	戸水休職についての法科大学意見書*	(一九〇五・九・一二)	一二七
四	織田萬書翰(木下広次宛)	(一九〇五・九・一二)	一二八
五	文部省より法科大学意見書返戻*	(一九〇五・九・一五)	一二九
六	法科大学意見書返戻に対し再上申*	(一九〇五・九・一九)	一二九
七	戸水教授休職と京都法科大学〔抄〕	(一九〇五・一〇・五)	一二〇
一一 岡田総長退職事件			
一	岡田総長の方針*	(一九〇七・一一・一二)	一二一
二	七月二五日から八月二日までの記録*	(一九〇八・)	一二一
三	京都帝国大学総長兼任問題	(一九〇八・七・二七)	一二三
四	田辺朔郎・中西亀太郎・千賀鶴太郎、小松原英太郎文相に面会*	(一九〇八・七・二九)	一二五
五	八月三日から八月二日までの記録*	(一九〇八・八・)	一二六
六	村岡範為馳・千賀鶴太郎・中西亀太郎・田辺朔郎書翰(小松原英太郎宛)	(一九〇八・八・一二)	一二九
七	一致行動の宣言*	(一九〇八・八・二八)	一二九
八	田辺朔郎書翰(村岡範為馳宛)	(一九〇八・九・一二)	一二九
九	連署者会合*	(一九〇八・九・五)	一二〇
一〇	総長選任の意見書に対する回答*	(一九〇八・九・三〇)	一二三

三 岡村教授譴責事件

一 大 氣 焰	(一九二・六・六)	二三三
二 小松原英太郎書翰(桂太郎宛)	(一九二・六・二九)	二三四
三 小松原英太郎書翰(桂太郎宛)	(一九二・七・四)	二三四
四 岡村譴責処分*	(一九一・七・一七)	二三五

四 澤柳事件と総長公選への動き

一 坂口日記 一九一三年七月二二日条		二三六
二 澤柳政太郎書翰(牧野伸顯宛)	(一九三・七・一四)	二三六
三 坂口日記 一九一三年七月二六日条(抄)		二三七
四 坂口日記 一九一三年七月二六日条(抄)		二三七
五 法科教授の意見書発表 対総長の任免問題	(一九三・一二・二五)	二三七
六 大学教授ノ罷免ニ関スル交渉顚末	(一九四・一・一)	二四一
七 坂口日記 一九一四年一月一五日条		二四六
八 澤柳総長の顚末書公表	(一九四・一・一六)	二四六
九 坂口日記 一九一四年一月一六日条		二四八
一〇 其後の京大問題(抄)	(一九四・一・二三)	二四九
一一 坂口日記 一九一四年一月二六日条		二五〇
一二 大学教授ノ任免ニ関スル事件ノ経過及解決	(一九四・二・八)	二五一
一三 京大法科又爆発か? 小川、佐々木、雉本三教授文相に詰問 状を發せんとす(抄)	(一九四・二・一〇)	二五二
一四 坂口日記 一九一四年二月一日条		二五四

一五	法科大学問題解決 三教授も辞職せず	(一九一四・二・一二)	二五四
一六	両教授文相に迫る	(一九一四・二・一二)	二五五
一七	京大総長問題	(一九一四・四・一五)	二五六
一八	坂口日記 一九一四年六月一五日条		二五七
一九	所謂京大文科事件に於て採れる吾人法科学学生の行動に就きて	(一九一四・六・)	二五七
二〇	坂口日記 一九一四年八月一九日条		二六一
二一	坂口日記 一九一五年六月条(抄)		二六三
二二	大井名譽教授談筆記概要		二六四

五 河上事件

一	河上教授辞職ニ関スル件	(一九二八・四・一六)	二六五
二	恩師を慕ひ自由の荒廃を慨く 純情から京大経済学部学生 声明書を発表	(一九二八・四・一九)	二六五
三	大学を辞するに臨みて	(一九二八・四・二二)	二六六
四	河上博士謝恩会	(一九二八・五・二二)	二六九

六 瀧川事件(京大事件)

一	瀧川教授問題で京大法学部教授会声明	(一九三三・五・一四)	二七一
二	申合(法学部教授一五名)	(一九三三・五・一五)	二七二
三	個人的見地からの擁護ではない 誤解、偏見一掃のため教授		

会再度の声明	(一九三三・	五・一七	二七七
四 宮本学部長の声明を反駁『学問の自由』に關し文部省側の 見解	(一九三三・	五・一八	二七三
五 果然沈黙を破り緊急学生大会開かる	(一九三三・	五・二〇	二七四
六 申合(法学部教授一六名)	(一九三三・	五・二三	二七五
七 声明(法学部教授一同)	(一九三三・	五・二六	二七五
八 助教授の声明書	(一九三三・	五・二六	二七八
九 講師助手の声明書	(一九三三・	五・二六	二七八
一〇 大学院学生一同声明	(一九三三・	五・二六	二七八
一一 意見書と質疑大要(分限委員会)	(一九三三・	五・二六	二七九
一二 声明書(経済学部学生一同)	(一九三三・	五・二七	二八〇
一三 学生声明書(法学部学生一同)	(一九三三・	五・二七	二八一
一四 声明書(有信会全国大会)	(一九三三・	六・四	二八一
一五 決議(有信会全国大会)	(一九三三・	六・四	二八五
一六 抗争の嵐学園を包む きのふ京大全学生大会	(一九三三・	六・七	二八五
一七 瀧川教授の思想は明かにマルクス主義 刑法読本及刑法講 義の内容 きのふ文部省から發表す	(一九三三・	六・八	二八七
一八 文部省との折衝について小西重直総長よりの報告*	(一九三三・	六・一五	二八九
一九 我々は何故解決案を拒否したか	(一九三三・	六・一六	二八九
二〇 軟弱教授を排撃 団結、難局に当れ! 舌端火を吐く獅子吼 きのふの京大全学生大会	(一九三三・	六・一七	二九三

二一	田村徳治・恒藤恭の声明書*	(一九三三・七・二三)	二九五
二二	声明書(法学部教授七名)	(一九三三・七・二二)	二九六
二三	岩波茂雄書翰(佐々木惣一宛)	(一九三三・七・二三)	二九七
二四	文部省との折衝について松井元興総長よりの報告*	(一九三三・七・二五)	二九八
二五	声明書(法学部講師・助手・副手八名)	(一九三三・七・二七)	二九九
二六	檄	(一九三三・)	三〇一
二七	京大復帰問題経過	(一九三四・三・二六)	三〇二

第四章 一九三〇年代初頭までの大学生活・学生運動

解題	三〇六
----	-----

一 運動会・以文会・学友会

一	運動会仮規則	(一九〇九・)	三二〇
二	運動会記事 明治三十及三十一、二年	(一九〇九・)	三二一
三	運動会規則	(一九〇〇・二・二)	三二二
四	運動会第二回陸上競技大会案内状*(抄)	(一九〇〇・三・)	三二四
五	陸上競技運動会執行ニ関スル本旨及方針ニ付木下総長ノ演説	(一九〇〇・)	三二五
六	福岡医科大学学友会運動部創設主意書	(一九〇三・二・)	三二一
七	以文会前記	(一九〇九・)	三二二
八	以文会規則	(一九〇九・)	三二三

九 学友会規則	(一九三・三・)	三五
一〇 創刊に際して 経過と希望	(一九五・四・一五)	三八

二 大学生生活

一 寄宿舎開始ニ関スル告示案	(一九〇六・一・一九)	三一九
二 京都帝国大学々々生毎月費消ノ平均金額調	(一九〇六・一一・五)	三一九
三 寄宿舎記事〔抄〕	(一九〇九・)	三三一
四 学生控所の新設〔抄〕	(一九一・)	三三三
五 道場落成、道場開き〔抄〕	(一九二・四・)	三三九
六 購買組合と共同購買会	(一九二七・二・)	三四〇
七 京都帝国大学入学ニ関スル注意	(一九四・二・)	三四四
八 本学祝日をとし『楽友会館』と命名していよく開かれる廿五周年記念会館	(一九五・五・一五)	三四七
九 京都帝国大学楽友会規則	(一九五・七・九)	三四九

三 学生運動

一 学生政治運動ニ関スル件	(一九一七・三・一五)	三四九
二 清野長太郎書翰(荒木寅三郎宛)	(一九一九・二・二五)	三五〇
三 家宅搜索、検束問題に就て全学学生諸君に伝ふ	(一九二五・二・三)	三五〇
四 坂口日記 一九二五年二月一三日条〔抄〕		三五二
五 坂口日記 一九二五年二月一七日程		三五二

六	本月二十一日評議員協議会ニ於テ協定ノ事項ニ関スル件	(一九二五・一二・二三)	三五二
七	意見書(法学部教授一同)	(一九二五・一二・二四)	三五三
八	意見書(経済学部教授六名)	(一九二五・一二・二四)	三五六
九	坂口日記 一九二五年二月二十九日条(抄)		三五八
一〇	学生検束の次第を聴取 内相は「之を諒とす」 荒木総長等との会見に際して 意味深長の一語に尽きる	(一九二五・一二・二九)	三六一
一一	学生拘引ノ件ニツキ報告	(一九二六・一・一五)	三六二
一二	坂口日記 一九二六年一月二十九日条(抄)		三六三
一三	坂口日記 一九二六年二月三日条(抄)		三六四
一四	特に諸子に告ぐ 本学々生一般に対する荒木総長の訓示 二月十三日新館大ホールにて	(一九二六・二・二三)	三六四
一五	特別委員会に関する総長の報告*	(一九二六・二・一八)	三六六
一六	評議会閉会後花田学生監による報告*	(一九二六・二・二五)	三六七
一七	明日発会の猶興学会 新日本精神を高唱する	(一九二六・六・一)	三六七
一八	松浦鎮次郎書翰(荒木寅三郎宛)	(一九二六・九・一七)	三六八
一九	学生運動に関する文部次官通牒	(一九二六・九・二八)	三六九
二〇	学生消費組合に関する件*(抄)	(一九三一・九・一二)	三六九
二一	学生消費組合ニ関スル件	(一九三一・一〇・八)	三七四

第五章 戦時体制

解題

三七五

一 戦時下の制度・組織改革

- 一 京大満洲会発会式 大野主事曰く「右翼とみるは認識の不足だ」……………(一九三二・一一・五) 三八一
- 二 満蒙調査会規程……………(一九三四・三・八) 三八二
- 三 満蒙調査会調査事項調……………(一九三四・七・五) 三八三
- 四 修文会会則……………(一九三七・五・八) 三八四
- 五 応召者後援会……………(一九三七・九・一六) 三八五
- 六 京大報功会……………(一九三七・一〇・一四) 三八七
- 七 国民精神総動員実施ニ関スル件……………(一九三八・六・三) 三八八
- 八 本部国民貯蓄組合規約……………(一九三八・七・一) 三九二
- 九 青少年学徒ニ賜ハリタル勅語ノ聖旨奉戴ニ関スル具体案……………(一九三九・七・四) 三九四
- 一〇 本学内ニ帝国在郷軍人会分会設立ノ件〔抄〕……………(一九三九・一二・七) 三九七
- 一一 諸行事表……………(一九三九・一二・一〇) 三九九
- 一二 国民精神総動員実践機関設置ニ関スル件……………(一九四〇・一・一九) 四〇二
- 一三 本学制度ニ関スル件〔抄〕……………(一九四〇・一・二五) 四〇四
- 一四 本学制度ニ関スル件……………(一九四〇・二・八) 四一一
- 一五 第一回学友会改組準備委員会……………(一九四〇・一一・四) 四一六

一六	通則改正案訂正ニ関スル件	(一九四一・三・一六)	四二〇
一七	同学会規則	(一九四一・四・一)	四二〇
一八	防衛団規則	(一九四一・八・一八)	四二七
一九	緊急科学研究体制	(一九四三・九・二)	四二八
二〇	勤勞報国隊規則	(一九四四・六・二八)	四二九
二一	学徒隊規則	(一九四五・七・二)	四三〇

二 荒木文相改革問題

一	総長候補者選挙延期*	(一九三八・七・一〇)	四三二
二	長与日記 一九三八年七月一三日条(抄)		四三三
三	後任総長詮衡に関する決定事項*	(一九三八・七・二六)	四三四
四	後任総長詮衡に関する七月二六日付決定取消*	(一九三八・七・三〇)	四三五
五	総長、学部長等ノ詮衡推薦ニ関スル件	(一九三八・八・六)	四三五
六	山川局長私案	(一九三八・八・一三)	四三六
七	文部省案	(一九三八・八・二四)	四三六
八	大学制度調査委員会決定事項	(一九三八・八・)	四三八
九	長与日記 一九三八年九月三日条		四三九
一〇	総長、学部長、教授助教候補者推薦に関する件*	(一九三八・一〇・二)	四四〇

三 戦時下の儀式・行事

一	戦歿者合同慰霊祭案内状*	(一九三九・一〇・二)	四四〇
---	--------------	-------------	-----

二 紀元二千六百年記念事業(案) (一九四〇・九・一二) 四四二

三 本学歴史編纂ニ関スル件 (一九四〇・九・一二) 四四三

四 国民的感激をこめて寿ぐ祝典の日近し 講演・学内開放の

催決まる(抄) (一九四〇・一〇・二〇) 四四四

五 学園の決意強し 十一日詔書捧読式挙行 (一九四一・一二・二〇) 四四五

六 大東亜戦争一周年記念事業 (一九四二・一二・五) 四四八

四 学徒動員

一 春陽あびて勤勞奉仕始まる 先づ運動場の修理から (一九三九・四・二〇) 四五〇

二 報国隊規則 (一九四一・九・一) 四五一

三 防火に警戒に目覚し報国隊の活躍 学徒の真面目を發揮し

て (一九四一・一〇・二〇) 四五二

四 報国隊二度目の出動 (一九四二・二・五) 四五三

五 報国隊動員態勢全し 連絡班員、集合場所決定す (一九四二・四・二〇) 四五四

六 泥と汗にまみれて 報国隊貯水池工事に出動 (一九四三・五・五) 四五五

七 のべ七千名を動員 九月の報国隊勤勞出動 (一九四三・九・二〇) 四五五

八 開墾、草刈に出動 報国隊増産推進に輝く成果 (一九四三・一〇・五) 四五七

九 勤勞奉仕 寒風の中、土に挑む 十日から湖国へ増産援兵 (一九四四・一・二〇) 四五七

一〇 報国隊第二陣出動 烈々、戦線に続く気魄 (一九四四・二・五) 四五八

一一 西に東に適性分散出動 京大法・弱体学徒を落下傘的配置 (一九四五・六・二一) 四五九

五 学徒出陣

一 志気昂揚に邁進 十九日「征途に誓ふ会」举行	(一九四三・一〇・二〇)	四六一
二 本学決戦体制 教練、行軍に重点 出陣に備へる健兵教育	(一九四三・一〇・二〇)	四六二
三 学園残留者は二割強 本学文科系学生の調査なる	(一九四三・一一・五)	四六三
四 出陣の日愈よ迫る 今日送る精鋭学徒 午前八時から本学 壮行式	(一九四三・一一・二〇)	四六四
五 壮行式告辞	(一九四三・一一・二〇)	四六六
六 答 辞	(一九四三・一一・二〇)	四六九
七 目指す全員志願 「半島学徒出陣の夕」開催	(一九四三・一一・二〇)	四七〇
八 学徒壮行の模様を「百号」の大作に 同学会	(一九四三・一二・五)	四七一

六 戦時下の大学生活

一 明春から指導教官制 全国帝大に魁けて	(一九三四・九・二二)	四七一
二 この数字を見よ 蝕む青春を如何に防護するか 結核予防 会の発表	(一九三五・二・二二)	四七二
三 日本文化講義実施ニ関スル件	(一九三六・七・二二)	四七三
四 諸權威を動員して日本文化講義 三回六時間にわたり	(一九三六・一〇・五)	四七五
五 特輯 戦時下の学生 学生生活調査	(一九三八・五・五)	四七六
六 法学部経済学部学生指導制度ノ件	(一九四〇・三・二八)	四八三
七 学生課ヨリ協議ノ件	(一九四〇・九・一二)	四八三
八 京大満洲国留学生クラブ 宿願かなつて愈よ創設	(一九四一・五・二〇)	四八四

九 学生生徒国民貯蓄組合規約	(一九四二・一二・二)	四八四
一〇 全国の学徒に飛檄 京大・尊皇攘夷学徒蹶起大会を開催	(一九四五・四・一二)	四八六
一一 留学生輔導に万全	(一九四五・五・二二)	四八七

第六章 新制大学の発足と整備

解題		四八九
----	-------	--	-----

一 敗戦直後の大学

一 総合研究体制要項および研究題目*	(一九四六・一・一五)	四九三
二 不適格十二名 京大の教育審判 追放の烙印	(一九四六・一〇・二六)	四九四
三 同学会規則	(一九四六・一二・四)	四九六
四 本学創立五十周年記念行事	(一九四七・六・一七)	五〇一
五 創立五十周年記念祝典週間行事*	(一九四七・一〇・二二)	五〇一

二 新制大学の発足

一 学部学科、研究所等大学の組織計画		五〇六
二 設置認可申請書(抄)		五〇七
三 設置認可申請書(抄)		五一四
四 新制国立大学設置について	(一九四九・五・三二)	五一四
五 分校設置について	(一九四九・七・一八)	五一四
六 大学設置認可申請書(抄)	(一九五〇・九・三〇)	五一五

二 諸制度の整備

一 文部省研究機関に対する行政監察の結果について	(一九五二・四・三)	五二九
二 大学院設置認可申請書類(抄)	(一九五三・一・)	五三七
三 大学院医学研究科設置認可申請書類(抄)	(一九五四・一〇・三二)	五四二
四 自然科学系学部における修業年限一ヶ年延長について	(一九五五・七・一九)	五四四
五 自然科学系学部の修業年限一ヶ年延長に関する人文科学系 学部長の意見*	(一九五五・一〇・一二)	五四七
六 教育制度委員会報告書(抄)	(一九五五・一二・六)	五四八
七 大学の管理運営についての意見	(一九六一・九・一二)	五五二
八 大学制度委員会の審議結果について(報告)(抄)	(一九六五・三・二三)	五五三
九 教育課程等委員会の審議結果について(報告)	(一九六九・六・二六)	五六三
一〇 入学試験制度委員会の審議結果について(報告)	(一九六九・一二・一二)	五六六
一一 本学創立七十周年記念事業の終了(抄)	(一九七九・四・一五)	五六九

第七章 戦後の大学生活と学生運動

解 題	五七二
-----	-----

一 学生生活

一 内職実態統計 肉体的労働はば同数 最高給は速記室く じ	(一九四八・二・二)	五八一
二 めぐまれた設備 とざさせまき門	(一九四八・五・三二)	五八二

三	京大学生祭スケジュール	(一九四八・一〇・二五)	五八三
四	アルバイト学生に給食を 激減する体重に学健が警告	(一九五一・一・二三)	五八四
五	アル対活動活発化 “有能な家庭教師を紹介します”	(一九五四・五・二四)	五八四
六	京大文化祭参加行事一覽表	(一九五七・一・一)	五八五
七	課外セミナー開設	(一九六七・一・一)	五九〇
八	学生アルバイト職種別年間集計(昭和四十三年度分)	(一九六九・五・九)	五九三
九	学生懇話室の活動	(一九七七・六・二)	五九四
一〇	学べど住めぬ留学生 深刻な下宿難 京大太弱り	(一九八六・八・二〇)	五九五
一一	京都大学学生生活実態調査集大成〔抄〕	(一九九八・一・一)	五九六

一一 敗戦から一九六〇年代中葉までの学生運動

〔授業料問題〕

一	国立大学会議開く〔抄〕	(一九四八・五・一七)	六〇五
---	-------------	-------	-------------	-----

〔大学法問題〕

二	大学法試案への反響	(一九四八・一・一)	六〇七
---	-----------	-------	------------	-----

〔厚生女学部卒業生不採用問題〕

三	厚生女学部卒業生不採用問題に関する経過	(一九四九・五・二四)	六一〇
---	---------------------	-------	-------------	-----

四	全国学生大会々場不法使用に関する経過〔抄〕	(一九四九・六・一)	六一四
---	-----------------------	-------	------------	-----

〔レッドパージ反対運動〕

五	ストライキ禁止告示*	(一九五〇・一〇・一六)	六一八
---	------------	-------	--------------	-----

六	嵐の中に決起大会開く〔抄〕	(一九五〇・一・一)	六一九
---	---------------	-------	------------	-----

〔前進座事件〕

七 十一月二十五日及同二十七日の不法学生大会について〔抄〕 (一九五〇・二・五) 六二〇

〔天皇事件〕

八 公開質問状…………… (一九五一・二・一二) 六二四

九 京大行幸事件の真相と同学会の態度…………… (一九五一・二・一四) 六二六

一〇 同学会解散命令…………… (一九五一・二・一五) 六二七

一一 十一月十二日京都大学行幸に際し生じた混乱について(第二次報告)〔抄〕…………… (一九五一・二・一九) 六二八

〔全日本学園復興会議会場問題、荒神橋事件〕

一二 きょう抗議大会強行か 深更の交渉物別れ 京大同学会議場問題で一波乱〔抄〕…………… (一九五三・二・一七) 六三一

一三 学生デモ隊、鴨川へ雪崩れ落つ 荒神橋上・阻止の警官隊と衝突 突如、ラン干壊れ11人が重軽傷〔抄〕…………… (一九五三・二・二二) 六三二

一四 学生処分に関する告示…………… (一九五三・二・二二) 六三三

〔第二次瀧川事件〕

一五 京大へ警官隊出動 記念祭問題で乱闘騒ぎ 学生、総長をカシ詰 遂に実力で強制退去〔抄〕…………… (一九五五・六・四) 六三四

一六 声明書(同学会中央執行委員会)…………… (一九五五・六・四) 六三五

一七 同学会解散命令…………… (一九五五・六・五) 六三七

〔安保改定問題〕

一八 京大初の全学大会 教授も賛助で出演 〔国会解散要求〕

を宣言〔抄〕……………(一九六〇・五・二七) 六三九

一九 大会宣言〔国会解散を要求する京大同学大会〕……………(一九六〇・五・二六) 六四〇

二〇 創立記念式中止*……………(一九六〇・六・一七) 六四〇

二一 総長談話……………(一九六〇・六・一八) 六四一

〔東南アジア研究センター問題〕

二三 平沢総長にたいする公開質問状……………(一九六二・六・八) 六四一

二三 フォード財団からの研究奨学金の受入れについて〔抄〕……………(一九六九・五・二) 六四三

〔大学管理法問題〕

二四 大管法阻止へ高揚 12・8 闘争……………(一九六二・一二・二〇) 六四五

〔自衛官入学問題〕

二五 六・八全京大一人集会大会宣言(案)……………(一九六七・六・八) 六四七

二六 自衛官は受け入れぬ 京大 奥田総長が約束……………(一九六七・六・三〇) 六四九

二七 自衛官入学問題に関する概要について……………(一九六七・七・四) 六五〇

三 大学紛争とそれ以降の学生運動

〔大学紛争〕

一 声明〔医学部全学闘争委員会〕……………(一九六八・三・二五) 六五〇

二 一・一四寮団交が突き出した問題は何か……………(一九六九・一・一) 六五二

三 学生部の封鎖の事態に関する総長の所信……………(一九六九・一・一八) 六五四

四 総長団交における五者連絡会議の要求*……………(一九六九・一・一八) 六五六

五 京都大学のみなさんへ……………(一九六九・一・二三) 六五七

六	全学集会記録〔抄〕	（一九六九・一・二四）	六五七
七	八項目要求（全学闘争委員会準備会）	（一九六九・一・）	六六〇
八	奥田京大総長の発言内容（要約）——全学闘争委準備委との 「一昼夜団交」から〔抄〕	（一九六九・一・二八）	六六〇
九	京大五者連絡会議の当面の民主化要求	（一九六九・一・二八）	六六三
一〇	全京大人に訴える	（一九六九・二・二〇）	六六五
一一	学生紛争に伴う負傷者数調	（一九六九・三・）	六六八
一二	京大入学式 わずか一〇秒 「怒号」の式場〔抄〕	（一九六九・四・一一）	六六八
一三	闘争宣言——五・二三大管法粉碎、大学民主化 京大二万人 集会に決起しよう——	（一九六九・五・二）	六七〇
一四	五月二二日・二三日の本学の事態について	（一九六九・五・二三）	六七二
一五	封鎖解除に当たって全京大人に訴える	（一九六九・九・二二）	六七三
一六	京大機動隊入れ封鎖解除 時計塔だけは残る 街頭ケリラ、 また激化〔抄〕	（一九六九・九・二二）	六七四
一七	教養部における授業再開の経過について	（一九六九・一〇・二四）	六七五
一八	京大全面正常化へ 医学部の無期限スト解除	（一九七〇・一・九）	六七八
	〔竹本処分問題〕		
一九	分限処分の審査について〔抄〕	（一九七三・一・一九）	六七八
二〇	竹本免職処分に全学で反撃 経・文・理では無期ストに突 入〔抄〕	（一九七三・二・五）	六八〇
二一	二・一九竹本処分問題討論集会決議	（一九七七・二・一九）	六八三

三二 竹本信弘助手の分限処分についての審査評議会の審議経過

〔抄〕

(一九七七・七・八)

六八五

〔学寮問題〕

二三 学寮における当面の諸問題に関する学生部の基本的な方針について

(一九八〇・一・一〇)

六八八

二四 本学の学寮問題について〔抄〕

(一九八二・九・)

六九〇

二五 70年の歴史 灯を消すな 京大・吉田寮61年に廃寮 評議

会決定

(一九八二・二・一五)

六九三

二六 アピール 寮闘争に連帯を

(一九八三・四・一)

六九四

二七 吉田寮在寮期限設定に伴う一連の措置の完了について〔所

感〕

(一九八九・七・七)

六九七

第八章 大学再編への道

解題

一 紛争を契機とする諸改革

一 「京大広報」の発刊にあたって

(一九六九・五・二〇)

七〇六

二 月曜会について

(一九六九・五・二〇)

七〇七

三 医学部改革への努力

(一九六九・五・二〇)

七〇八

四 中教審答申に基づく立法化に対する総長の声明

(一九六九・五・二三)

七〇九

五 「大学の運営に関する臨時措置法案」に対する評議会声明

(一九六九・六・一七)

七一〇

七〇一

六	教養部新教授会の発足	(一九六九・九・一四)	七二一
七	評議会あり方検討委員会報告*	(一九六九・九・一六)	七二二
八	教養部の諸改革	(一九六九・一〇・一七)	七二七
九	月曜会メモ(第四一回)	(一九六九・一二・二三)	七二八
一〇	教養課程の改善について(答申)(抄)	(一九七〇・一・一〇)	七二二
一一	月曜会メモ(第四二回)	(一九七〇・一・一二)	七二九
一二	月曜会メモ(第四三回)	(一九七〇・一・一九)	七三二
一三	大学の未来像について(答申)(抄)	(一九七二・九・二七)	七三三
一四	総長選挙制度の改正について(答申)(抄)	(一九七三・六・一八)	七三七

二 教養部・大学院改革

一	大学院制度の改革について(答申)(抄)	(一九七五・三・三二)	七五三
二	OD問題について(答申)(抄)	(一九七八・四・一一)	七六一
三	独立専攻・独立研究科の制度・運営(答申)(抄)	(一九八一・一・二三)	七六五
四	報告(教養部にかかわる構想検討委員会)	(一九八七・一〇・一六)	七六九

三 新キャンパス構想

一	将来計画検討委員会第一次答申(抄)	(一九八五・三・二九)	七七四
---	-------------------	-------	-------------	-----

四 国際交流と大学開放

[国際交流]

一 大学間の国際学術交流のあり方について……………(一九七九・二・二八) 七八〇

二 将来計画検討委員会第二次答申〔抄〕……………(一九八五・一〇・二四) 七八一

三 京都大学名誉博士の制度について〔答申〕〔抄〕……………(一九八六・六・二三) 七八七

四 大学間学術交流協定を締結するに当たつての基本的な考え方について〔抄〕……………(一九八八・一一・二五) 七八九

〔公開講座〕……………(一九七九・一〇・一) 七九〇

五 京都大学市民講座の開催……………(一九八八・八・二四) 七九一

六 京大連続市民講座を開設 月・水曜の夜は……と学問を〔抄〕……………(一九七三・一一・三〇) 七九二

〔京都大学後援会〕……………(一九七四・六・四) 七九三

七 財団法人京都大学創立七十周年記念後援会設立趣意書……………(一九八八・八・二六) 七九三

八 財団法人京都大学創立七十周年記念後援会寄附行為〔抄〕……………(一九七七・九・一二) 七九五

九 財団法人京都大学後援会寄附行為〔抄〕……………(一九七七・九・一二) 七九五

〔京大会館楽友会〕……………(一九七七・九・一二) 七九五

一〇 財団法人京大会館楽友会設立趣意書……………(一九八六・四・二五) 七九六

一一 財団法人京大会館楽友会寄附行為〔抄〕……………(一九八六・七・一) 七九七

五 入学試験制度改革

一 京大法学部、分裂入試も 国大協改革案に反対 従来の日程で検討〔抄〕……………(一九八六・四・二五) 七九六

二 受験機会の複数化について〔抄〕……………(一九八六・七・一) 七九七

六 諸問題への対応

〔教職員定員削減問題〕

- 一 第二次定員削減に対する要望について……………(一九七一・五・二四) 八〇七
 二 定員外職員の在職状況について〔抄〕……………(一九七四・六・二五) 八〇九

〔同和・人権問題〕

- 三 教育実習オリエンテーションについて〔抄〕……………(一九七二・七・二六) 八二六
 四 同和問題委員会の設置と発足後の経過について……………(一九七三・六・一) 八二一
 五 同和問題委員会中間報告〔抄〕……………(一九七五・一・二〇) 八三二

〔環境問題〕

- 六 水銀大量たれ流し 京大 市内へ通じる排水こう……………(一九七二・七・二五) 八二六
 七 総長声明について……………(一九七二・二・二七) 八二八
 八 京大原子炉実験所排水路からコバルト60 泥中、微量を検出……………(一九七九・四・二三) 八二八

大阪熊取町住民にショック〔抄〕……………

- 九 原子炉実験所をめぐる問題について……………(一九七九・一〇・一五) 八二九

〔構内交通安全問題〕

- 一〇 構内交通安全対策について〔抄〕……………(一九七四・四・一五) 八三〇
 一一 本学構内交通規制の実施〔抄〕……………(一九七九・二・一五) 八三一

第九章 現在の京都大学

解 題……………

一	教養部にかかわる構想検討委員会からの報告〔抄〕	（一九八九・一・二二）	八三八
二	学術出版会設立委員会報告*	（一九八九・五・三二）	八四四
三	アスベストによる環境汚染対策指針〔抄〕	（一九八九・	八四六
四	同和問題等人権に関する教育及び研究の在り方について（答申）	（一九九〇・二・二六）	八五〇
五	教育課程等特別委員会報告書〔抄〕	（一九九二・九・二九）	八五一
六	古紙の回収と再生紙の利用促進について	（一九九三・四・三〇）	八六〇
七	二一世紀における京都大学のあり方について（将来構想試案その一）〔抄〕	（一九九三・六・	八六一
八	本部構内交通規制の暫定措置の実施	（一九九三・一〇・一五）	八六九
九	「京大教授がセクハラ」元秘書人権救済申し立て	（一九九三・二・一八）	八七一
一〇	二一世紀における京都大学のあり方について——中間報告——〔抄〕	（一九九四・二・	八七二
一一	創立百周年記念事業計画	（一九九四・六・二二）	八八一
一二	大学における性差別の問題をめぐって	（一九九四・九・一五）	八八二
一三	総長を補佐する体制の在り方について（報告）	（一九九四・一・二二）	八八三
一四	大学における性差別問題の相談受入れ体制について	（一九九五・六・一）	八八五
一五	大学間の学生交流のための協定書について（提言）〔抄〕	（一九九五・七・五）	八八六
一六	「京都大学国際教育プログラム（仮称）」の実施について	（一九九五・一〇・一七）	八八九
一七	一般教育の危機指摘 京大教職員泊まり込み討論	（一九九六・八・二九）	八九〇
一八	副学長制の設置及び学生部の事務局への一元化をめぐって	（一九九七・七・二）	八九〇

第三編 式典・式辞

第一章 式 典

一 入 学 式

一 第一回学生宣誓式執行の告示*	(一八九七・九・一〇)	九〇三
二 学生宣誓式次第*	(一八九七・九・一〇)	九〇三
三 学生学籍簿誓詞案*	(一八九九・九・一一)	九〇四
四 新入学生宣誓式挙行の告示*	(一九三二・四・二〇)	九〇四
五 学生学籍簿誓詞改正案	(一九四七・四・一七)	九〇四
六 入学生の宣誓の件	(一九五〇・三・二三)	九〇五

一九 副学長めぐり団体交渉平行線 京大 総長と反対学生	(一九九七・七・一二)	八九二
二〇 創立百周年記念音楽会開催*(抄)	(一九九七・九・九)	八九三
二一 創立百周年記念特別講演会、記念シンポジウム開催*(抄)	(一九九七・九・九)	八九三
二二 大学は経済効率だけで測れない 国立大の独立行政法人化	(一九九七・一〇・一八)	八九四
二二 京大が反对方針(抄)	(一九九七・一一・二)	八九五
二三 総長式辞(創立百周年記念式典)	(一九九七・一二・)	八九九
二四 創立百周年記念展覧会	(一九九七・一二・)	八九九

七	入学生宣誓式挙行の告示*	(一九五〇・四・一四)	九〇五
八	新制大学院研究科修士課程入学者誓詞	(一九五三・五・一二)	九〇五
九	入学生宣誓式参加人数 一九五七—一九六〇年度*	(一九六一・)	九〇六
一〇	宣誓式等検討委員会答申*	(一九七五・五・二八)	九〇七
一一	学部入学者誓詞および大学院入学者誓詞改正*	(一九七六・二・二四)	九一〇
一二	学部入学式挙行の告示*	(一九七六・三・二七)	九一〇

一一 卒業式

一	理工科大学卒業証書制定	(一九〇〇・二・一一)	九一一
二	理工科大学卒業証書制定ノ続	(一九〇〇・二・一八)	九一一
三	理工科大学卒業証書改定	(一九〇〇・二・二三)	九一三
四	京都帝国大学祝日式次第	(一九〇五・四・一一)	九一四
五	伏見宮家令へ卒業式次第書送付ノ件	(一九一四・七・六)	九一四
六	卒業証書授与式当日係員心得ノ件	(一九一四・七・七)	九一八
七	卒業証書授与式次第	(一九一四・七・二三)	九一九
八	卒業式ニ父兄等参列方ノ件	(一九一五・六・二三)	九一九
九	卒業証書授与式当日敬礼ノ事	(一九一五・六・二三)	九二〇
一〇	卒業証書授与式廃止ニ付開申ノ件	(一九一九・六・九)	九二〇
一一	卒業式ニ関スル件	(一九二七・一・二〇)	九二一
一二	式次第	(一九二七・三・三〇)	九二一
一三	卒業式次第	(一九四一・一二・二八)	九二一

一四	卒業式挙行について	(一九四八・三・一八)	九二二
一五	大学院学生修士学位授与式挙行について	(一九五五・三・一五)	九二三
一六	卒業式式場配置図	(一九六〇・三・二四)	九二四
一七	修士学位授与式挙行の告示*	(一九七四・三・一五)	九二四
一八	卒業式挙行の告示*	(一九七四・三・一五)	九二五
一九	昭和六〇年度修士学位授与式卒業式実施要領〔抄〕	(一九八六・二・一五)	九二五
二〇	卒業式挙行の告示*	(一九九八・三・六)	九二七

第二章 式 辞

一	木下 廣次			
一	宣誓式(一八九七年度)	(一八九七・九・一三)	九二八
二	卒業証書授与式(一八九九年度)	(一九〇〇・七・一四)	九三一
二	岡田 良平			
一	着任時告辞	(一九〇七・一〇・二四)	九三四
三	菊池 大麓			
一	入学宣誓式(一九〇九年度)	(一九〇九・九・一五)	九三六
四	久原躬弦			

一	宣誓式(一九二二年度)	(一九二二・九・一八)	九三九
	五 澤柳政太郎			
一	宣誓式(一九二三年度)	(一九二三・九・一八)	九四一
	六 山川健次郎			
一	宣誓式(一九二四年度)	(一九二四・九・一四)	九四四
	七 荒木寅三郎			
一	宣誓式(一九二八年度)	(一九二八・九・一三)	九四六
二	卒業式(一九二六年度)	(一九二七・三・三〇)	九四九
	八 新城新藏			
一	宣誓式(一九二九年度)	(一九二九・五・一一)	九五一
	九 小西重直			
一	宣誓式(一九三三年度)	(一九三三・五・六)	九五三
	一〇 松井元興			
一	卒業式(一九三四年度)	(一九三五・三・三〇)	九五五

一一 濱田耕作			
宣誓式(一九三八年度)	(一九三八・五・一四)	九五六	
一二 羽田 亨			
卒業式(一九四〇年度)	(一九四一・三・三二)	九五八	
一三 鳥養利三郎			
入学宣誓式(一九四六年度)	(一九四六・五・一五)	九六一	
入学式(一九四九年度)	(一九四九・七・七)	九六四	
一四 服部峻治郎			
卒業式(新制、一九五二年度)	(一九五三・三・二四)	九六七	
二 大学院入学生宣誓式(一九五三年度)	(一九五三・五・一五)	九六八	
一五 瀧川幸辰			
修士学位授与式(一九五四年度)	(一九五五・三・二三)	九六九	
一六 平澤 興			
卒業式(一九六二年度)	(一九六三・三・二五)	九七一	
一七 奥田 東			

卒業式(一九六八年度)	(一九六九・三・二五)	九七六
一八 前田 敏男		
入学宣誓式(一九七二年度)	(一九七二・四・一二)	九八〇
一九 岡本 道雄		
卒業式(一九七七年度)	(一九七八・三・二四)	九八二
二〇 沢田 敏男		
卒業式(一九八三年度)	(一九八四・三・二四)	九八八
二一 西島 安則		
卒業式(一九八八年度)	(一九八九・三・二四)	九九四
二二 井村 裕夫		
卒業式(一九九四年度)	(一九九五・三・二四)	九九八
二三 長尾 真		
卒業式(一九九七年度)	(一九九八・三・二四)	一〇〇三

第二編

百年の出来事

第三編

式
典・式
辞

典拠目録

- 〔三二〕『京都日日新聞』
- 〔三三〕『以文会誌』・『学友会誌』
- 〔三三〕『京都帝国大学新聞』
- 〔三四〕『大学新聞』
- 〔三五〕『学園新聞』・『京都大学新聞』
- 〔三六〕『京都法学会雑誌』
- 〔三七〕『東京大学史紀要』
- 〔三八〕『京大教養部報』
- 〔三九〕京都大学学生部委員会・学生生活実態調査集大成
編集委員会『京都大学学生生活実態調査集大成』
一九九八年
- 〔四〇〕『本学の学寮問題について』一九八二年九月
- 〔四一〕大学問題検討委員会『大学の未来像について(答
申)』(『京大広報』第七五号別冊)一九七二年
- 〔四二〕『神陵小史』三高同窓会、一九三五年
- 〔四三〕『神陵史グラフ』三高同窓会、一九三九年
- 〔四四〕神陵史資料研究会『史料神陵史』一九九四年
- 〔四五〕『大学分校一覽』
- 〔四六〕『第三高等中学校一覽』
- 〔四七〕『壬辰会雑誌』
- 〔四八〕『第三高等学校一覽』
- 〔二〕『官報』
- 〔六〕『京都大学学報』
- 〔七〕『京大広報』
- 〔八〕『京都帝国大学一覽』・『京都大学一覽』
- 〔一一〕『文部省令達通牒書類』*
- 〔一二〕『学内達示書類』*
- 〔一四〕『本学内規例規関係書類』*
- 〔一五〕『評議会議事録』*
- 〔一六〕『評議会関係書類』*
- 〔一六〕『法令全書』
- 〔二七〕七人共編『京大事件』岩波書店、一九三五年
- 〔二八〕京都大学東南アジア研究センター問題対策協議会
『京都大学東南アジア研究センター反対闘争の記録』
一九六二—一九六四—一九六五年
- 〔二九〕『日出新聞』・『京都日出新聞』・『京都新聞』
- 〔三〇〕『大阪朝日新聞』・『朝日新聞』

〔四九〕「嶽水会雑誌」

〔五〇〕「上野家文書」 上野弥氏所藏

〔五一〕「牧野伸顯関係文書」 国立国会図書館憲政資料室
所藏

〔五二〕「木下広次関係文書」 木下豪児氏所藏

〔五三〕「中川家文書」 立命館百年史編纂室所藏

〔五四〕「荒木寅三郎関係文書」 個人所藏

〔五五〕「鉄史斎日記」(坂口昂日記) 坂口昂吉氏所藏

〔五六〕「明治四十一年京大総長問題 岡田良平退職始末」

京都大学人文科学研究所所藏

〔五七〕「桂太郎関係文書」 国立国会図書館憲政資料室所
藏

〔五八〕「末川文庫」 立命館大学図書館所藏

〔五九〕「長与又郎日記」 東京大学史料室所藏

〔六〇〕「戦後学生・労働運動関係史料」 松尾尊允氏所藏

〔六一〕「京大闘争関係史料」 池田浩士氏所藏

〔六二〕「財団法人京都大学教育研究振興財団所藏資料」

〔六三〕「財団法人京大大会館楽友会所藏資料」

〔六四〕「京都帝国大学創立ニ関スル書類」*

〔六五〕「文部省往復書類」*

〔六六〕「記念祝式関係書類」*

〔六七〕「機密書類」*

〔六八〕「大学制度調査委員会一件」*

〔六九〕「佐々木惣一関係文書」***

〔七〇〕「精動関係書類」*

〔七一〕「学友会組織改革ニ関スル一件書類」***

〔七二〕「戦歿者合同慰霊祭」*

〔七三〕「総長祝式告辞弔辞集」*

〔七四〕「学徒出陣関係史料」***

〔七五〕「一件書類綴」***

〔七六〕「新制大学設置関係書類」*

〔七七〕「大学院設置認可申請書類」*

〔七八〕「新制大学院設置認可関係書類」*

〔七九〕「京大文化祭 一九五七 十一月一四―一七日」***

〔八〇〕「厚生女学部卒業生不採用問題関係書類」*

〔八一〕「第二次瀧川事件関係史料」***

〔八二〕「入学生宣誓式関係書類」*

〔八三〕「学生部封鎖関係書類」*

〔八四〕「大学紛争関係史料」***

〔八五〕「学内達示済書類」*

〔八六〕「卒業式関係書類」*

〔八七〕「文部省開申上申書類」*

- 〔八八〕「総長式辞告辞集」*
- 〔八九〕「総長告辞」*
- 〔九〇〕「第三高等中学校沿革」**
- 〔九一〕「本省往復簿」**
- 〔九二〕「第八学年第一期校表」**
- 〔九三〕「明治九年御指令済」**
- 〔九四〕「本省往復」**
- 〔九五〕「学務課往復簿」**
- 〔九六〕「本省特別達書類」**
- 〔九七〕「大阪専門学校校則」**
- 〔九八〕「文部省伺届原稿」**
- 〔九九〕「大阪中学校規則」**
- 〔一〇〇〕「文部省伺上申開申届類原稿」**
- 〔一〇一〕「文部省伺指令」**
- 〔一〇二〕「卒業式兼移転式書類」**
- 〔一〇三〕「御臨幸一件書類」**
- 〔一〇四〕「明治二十二年日誌」**
- 〔一〇五〕「校規書類」(第三高等中学校)**
- 〔一〇六〕「回達揭示書類」(第三高等中学校)**
- 〔一〇七〕「回達揭示書類」(第三高等学校)**
- 〔一〇八〕「校規書類」(第三高等学校)**

典拠番号は資料編全巻を通して付し、ここには本巻の関係分のみ示した。

*は京都大学事務局所蔵

**は京都大学総合人間学部図書館含密局／三高資料室所蔵

***は京都大学百年史編集史料室所蔵

京都大学百年史 資料編 2

平成12年10月30日 発行

編集 京都大学百年史編集委員会

発行 財団法人
京都大学教育研究振興財団
京都市左京区吉田河原町15-9

印刷 第一法規出版株式会社
東京都港区南青山2-11-17
